

I B - 1 新型コロナウイルス感染症疑い検体における 他の呼吸器ウイルス検出状況について

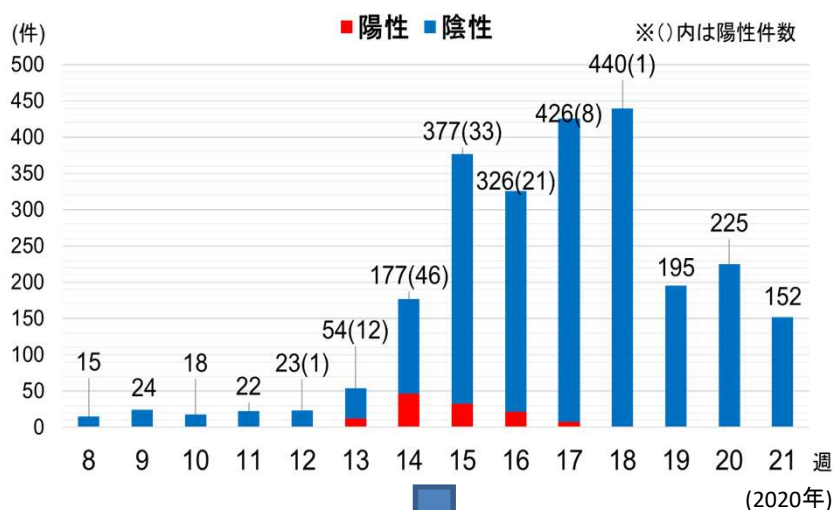
(R2~R4)

保健衛生部 細菌・ウイルス研究グループ 高橋 美帆

研究目的

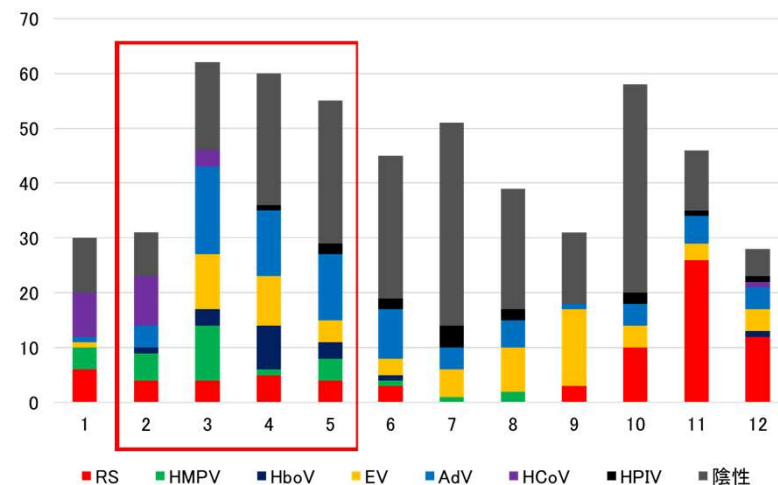
新型コロナウイルス感染症疑いで搬入された検体のうち、陰性と判定された検体の原因を特定することで、県内における呼吸器ウイルスの浸潤状況を正確に把握し、感染症に対する注意喚起や治療に対して役立て公衆衛生の向上につなげる。

福井県における新型コロナウイルス検査状況



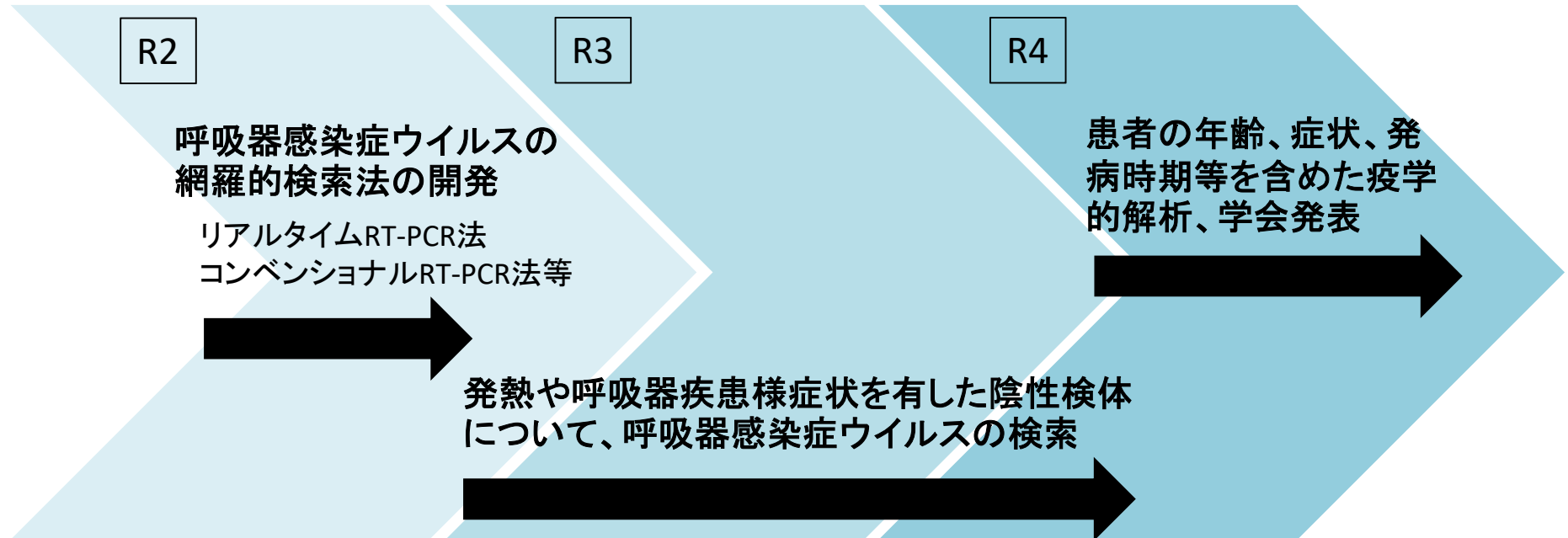
- ・累計検査件数は2474件で、うち陽性であった件数は122件、陰性であった件数は2352件
- ・陰性検体のうち、発熱や呼吸器疾患様症状があった検体は900件以上であり、原因については未だ不明である。

2015年に検出された呼吸器ウイルス(福井県)



新型コロナウイルスと並行して、様々な呼吸器ウイルスが流行していた可能性がある！

研究計画



期待される成果

・県内において新型コロナウイルスと並行して流行していた可能性のある呼吸器ウイルスの浸潤状況が解明される

・検出されたウイルスについて分子疫学解析を行うことにより、呼吸器感染症の流行像の詳細な把握に繋がる



・呼吸器感染症の原因となる呼吸器ウイルスの動向や疫学が明らかになることにより、疾病への適切な診断や治療、予防の対策が確実に実施でき県民の健康保持につながる

・ウイルス検出・検査手技の確立、呼吸器ウイルスサーベイランス機能の充実につながる